

### 日米首脳会談の早期開催で一致

【ワシントン西田進一郎】訪米中の河井克行首相補佐官は6日、トランプ次期米大統領が大統領補佐官(国家安全保障担当)に指名した。



ワシントン市内で会談した河井首相補佐官(右)とトランプ次期大統領補佐官(国家安全保障担当) 在米日本大使館提供

### 日米首脳会談 早期実施で一致

【ワシントン黒見周平】訪米中の河井克行首相補佐官は6日、次期国家安全保障担当大統領補佐官に内定

たマイケル・フリリン氏とワシントン市内で会談した。河井氏は会談後、記者団に対し、今月20日にトランプ氏が正式に大統領に就任した後、「なるべく早い機会」に安倍晋三首相と日米首脳会談を行うことが重要という認識で一致したと明らかにした。

河井氏によると、フリリン氏とはホテルで1時間以上にわたって意見を交換。トランプ新政権でも日米同盟の価値や重要性は揺るぎなく、「(同盟の)一層の深化と拡大を遂げていかなければならない」と確認したという。会談時期については「具体的な日付の話は出ていない」と答えた。関係者によると、河井氏はトランプ氏の早期訪日も要請したという。

しているマイケル・フリリン元国防情報局長官とワシントン市内で会談した。両氏は日米同盟の重要性を確認し、ドナルド・トランプ次期大統領が20日の就任式後、早期に安倍首相と初の首脳会談を行うべきだと考えて一致した。

### 日米首脳会談の早期実現で一致

【ワシントン時事】河井克行首相補佐官は6日夜(日本時間7日昼)、トランプ次期米大統領が国家安全保障担当大統領補佐官に指名したマイケル・フリリン元国防情報局長官とワシントンのホテルで1時間余り会談した。両氏は20日の新政権発足後、できるだけ早期に安倍晋三首相と次期大統領による首脳会談を実施させることが重要だと認識で一致した。

日本政府は次期大統領側と、27日を軸にワシントンのホワイトハウスで首脳会談を行う方向で調整している。首相は日米同盟の強化や、自由貿易体制の重要性をめぐり意見を交わしたい考えだ。

# トランプ氏の訪日要請

## 首相補佐官 フリリン氏と米で会談

【ワシントン】後藤孝好】トランプ次期米大統領が国家安全保障担当の大統領補佐官に指名したマイケル・フリリン元国防情報局長と訪米中の河井克行首相補佐官が6日、首都ワシントンで

会談し、河井氏はトランプ氏の早期訪日を要請した。フリリン氏と河井氏の会談は約一時間。要請はトランプ氏にアジア太平洋地域への認識を深めてもらうのが目的という。

両氏は、トランプ次期政権が二十日に発足後、早期に安倍晋三首相とトランプ氏との首脳会談を行うことが重要との認識で一致した。安倍氏は今月下旬に訪米し、トランプ氏と会談を計

画している。河井氏によると、日米関係のあり方について、日米同盟の重要性はトランプ次期政権でも変わりなく、同盟関係をさらに深化、拡大させていく必要性も確認したという。トランプ氏は大統領選期間中、在日駐留米軍の経費負担増を日本に要求するなど日米関係のあり方を見直す考えを表明。フリリンも昨年十月に来日した際、新たな日米関係を構築したい考えを示していた。